

私の留学体験記

広島県立府中高等学校 3年 佐伯 凜々（さえき りり）

留学期間 平成30年3月24日 ～ 平成30年4月8日（16日間）

留学先 ミリラニ高校（ホノルル，アメリカ合衆国・ハワイ州）

姉妹校であるミリラニ高校に2週間お世話になりました。高校自体は修学旅行で訪れたことがありましたが、今回の短期留学では生徒や英語，文化の違いに触れる機会がより多く，とてもいい経験になりました。

一番印象に残っているのは，教会で授業を受けたことです。私のホストスチューデントはモルモン教徒だったので，教会に通って，一緒に聖歌を歌ったり，モルモン教について勉強したりしました。全員で聖歌を歌うとき，そこでピアノを弾かせてもらいました。はじめて見る楽譜で緊張しましたが，なんとか弾ききることができました。弾き終わった後の拍手と歓声は今でも忘れられません。英語の授業で「芸術は国境を超える」という内容の英文を扱ったことがあります。当時は手垢のついた表現だと思っていて，正直あまり心に響いていませんでした。しかし，今回の留学を通して，なるほどと思えるようになりました。音楽だけでなく，手遊び，ゲームなど言葉以外のさまざまなものに助けられたことが多くあったからです。自分の経験したこととして，日本で学んでいたことを理解するよい機会にもなったと思います。

ミリラニ高校では，ホストスチューデントとずっと一緒にいるので，英語で会話を続ける良い練習になりました。自分がしたいこと，聞きたいことを伝えるのは簡単ですが，それだけでは当然会話になりません。一方的に言いたいことを口に出しているだけです。相手の言っていることを理解して自分の思いを伝えるのはものすごく大変でした。ジェスチャーや単語をつなげた文でも，もちろんある程度は伝わります。しかし，対等な立場で話すにはそれだけでは足りないと感じました。文法や語彙を知っていること，聞けること，使えることなど，全部の力を同じようにつけていきたいです。また，日本のことについて質問されたとき，普段深く考えることがなかったり，知らなかったりして答えられないこともありました。他国のことを学ぶ前に，まず自分の国のことを知ることも必要だと思います。そのためには，周りのいろいろなものに興味を持ち，知りたいと思う気持ちが大事だと思います。

この短期留学では言葉の勉強に加え，家で座って勉強するだけでは得られないような経験もたくさんできました。ただの思い出として覚えておくのではなく，日本での今後の生活のヒントとして自分の力になればと思います。

